

2023年7月19日

SOMPOホールディングス株式会社

SOMPOケア株式会社

キッザニア東京に『ケアサポートセンター』パビリオンがオープン！ ～介護職を子どもたちの「憧れの職業」へ～

SOMPOホールディングス株式会社（本社：東京都新宿区／グループCEO取締役代表執行役会長：櫻田 謙悟）は、KCJ GROUP 株式会社（本社：東京都中央区／代表取締役社長：圓谷 道成）が運営する子どもの職業・社会体験施設「キッザニア東京」（東京都江東区）にて、SOMPOケア株式会社（本社：東京都品川区／代表取締役社長 鷲見 隆充、以下「SOMPOケア」）による「介護福祉士」体験ができる『ケアサポートセンター』パビリオンを2023年7月19日（水）にオープンします※。

本パビリオンで子どもたちは、「介護福祉士」として高齢者の身体状態や介護の専門的な知識、ICTを使った新しい介護技術などを学び、実際に介助体験を行います。体験を通じて未来を担う子どもたちが、相手の立場になって寄り添い、行動する力を身につけるとともに、新しい介護の可能性を知り、介護職への興味・関心を持つ機会を提供します。

※SOMPOケア 『ケアサポートセンター』パビリオン特設ページ：<https://smilekaigotown.sompocare.com/lessonstudio/kidzania/>



1. 出展の目的

超高齢社会を迎えた現代の日本において、高齢者人口増加に伴う介護人材不足は大きな社会課題です。この課題に対して、SOMPOケアは積極的なICT技術の活用による業務効率化や、処遇改善を通じた働きやすく、働きがいのある職場環境の整備などに取り組んでおり、介護業界の変革にチャレンジしています。

一方で、現代は家族構造の変化により、祖父母とは別々に生活する割合が増えているなど、子どもが高齢者と触れ合う機会が減っています。2025年には3人に1人が65歳以上の高齢者となることが見込まれる日本において、子どもたちが高齢者の持つ知識や経験を尊重し、身体状態等を理解しながら敬意を持った接し方を学ぶことは、大変意義のあることだと考えています。

このような状況を踏まえ、子どもたちに高齢者のことを理解してもらうとともに、介護職の魅力を感じてもらえる場として、このたびキッザニア東京に『ケアサポートセンター』パビリオンをオープンしました。『ケア

サポートセンター』では、実際にSOMPOケアの介護現場で導入しているICTシステムを体験したり、車いすを押してキッザニアの街を歩いたり、介護現場で日々行われている介助を体験することができます。

未来を担う子どもたちが、高齢者の気持ちを考え行動する力を身につけるとともに、ICTを使った最新の介護技術に触れることで”新しい介護”の可能性を知り、「介護福祉士」への興味・関心を高め、介護の仕事が子どもたちの憧れの職業になることを目指します。

2. 『ケアサポートセンター』体験の流れ

・ 高齢者の姿勢を体験！

特殊な器具を装着し身体の動きにくさを実感することで、高齢者の身体状態や気持ちを理解します。

・ 睡眠状態を管理するICTシステムをチェック！

最新のICTシステムを活用し、遠隔で高齢者の睡眠状態をチェックします。



・ 実際に介助を体験！

ベッドに横たわる介護人形を起こす介助（離床介助）と、ベッドから車椅子へ移動する介助（移乗介助）を行い、介護人形が外出する準備を整えます。

・ 車いすでキッザニアの街へ！

車いすの操作方法を学びます。その後、車いすを押したり、車いすに乗ったりしながらキッザニアの街を散策します。



成果物

体験後は、介護福祉士認定の証として写真入りの ID カードを持ち帰ることができます。

カードの裏側には、介護福祉士としての大切な心構えである「介護福祉士の心得」が記されています。また、記載されている二次元バーコードを読み取ると、体験した人しか見ることができない特別なウェブページにアクセスすることができます！



4. 『ケアサポートセンター』のユニフォーム

『ケアサポートセンター』のユニフォームは、実際にSOMPOケアの介護現場で使用しているユニフォームをベースにしています。もっとも重要である「動きやすさ」を取り入れながら、キッズニア東京限定のデザインに仕上げました。



5. パビリオンの概要

- パビリオン名 : ケアサポートセンター
- 職業 : 介護福祉士
- 店員 : 4名 / 1回
- 所要時間 : 約30分
- 給料 : 8キッズ
- 成果物 : IDカード

以上